

「主将会議」確認事項（ルール確認他）

1. 原則として軟式野球規則に基づいて実施します。
2. 遅刻については10分=1点のペナルティ、60分1秒=棄権とします。

~10分の遅刻・・・1点
~20分の遅刻・・・2点
~30分の遅刻・・・3点
~40分の遅刻・・・4点
~50分の遅刻・・・5点
~60分の遅刻・・・6点

3. ダッグアウトはトーナメント組合せ表のアルファベットが先の方が1塁側、後の方が3塁側とします。
4. メンバー表は必ず試合前に審判に1枚、対戦チームに1枚、本部に1枚の合計3枚を提出して下さい。
5. 試合は原則7回とするが、1時間30分を超えて次のイニングに入らない。
6. 延長戦は予定時間内であれば、7回を限度として延長し、その時点で勝敗が決定しい場合は、9人のポジション別ジャンケンによって決める。
7. 決勝戦のみ7回までとする。7回終了時点で同点の場合、1イニングのタイブレーク（サドンデス）方式（※1）で決定する。

タイブレーク（サドンデス）でも勝敗がつかない場合は、ポジション別のジャンケンとする。

8. 5回終了時点で、10点以上の点差がある場合はコールドゲームとします。
決勝戦のみ、コールドゲームを採用しない。
9. 試合に参加する選手は、統一したユニフォーム（帽子、ストッキング）を着用のこと。練習についても同様とし、アンダーシャツ等での練習、試合参加は禁止。

※1：タイブレーク（サドンデス）方式とは、1死満塁とし打者は、次打者、走者は、前回最後の3打者をそれぞれ走者としてこれを標準とする。